静江その後。
サークル：ジェイザルゴ

※ご注意

この作品は１８歳以上の方向けとなっておりますので
１８歳未満の閲覧を禁止します。

この作品はフィクションであり、
実在する人物、団体名等とは
一切関係ありません。

退魔剣士シズル～悪鬼淫囚の章～から
本作までのあらすじ

平安の時代より、妖魔と呼ばれる
この世ならざる者どもと対峙してきた流禅寺家。
その家に生まれた女達は退魔の巫女として
妖魔と戦い現世の平和を守っていた。
一族の現巫女シズルは、かつて道を外れ
妖魔の力に傾倒した分家の頭首、
秋月幻魯の策略によって妖魔に囚われてしまう。
シズルの母で元巫女の静江は
娘を助け出そうとするも、流禅寺家使用人
磯部の裏切りにあい敗北。
親子ともに妖魔に囚われ、現世と常世の狭間、
無限空間のなかで辱めを受け続けた。
しかし最終的にシズルは、静江の護符によって
現世に帰還し、仲間とともに
秋月幻魯の野望を討ち果たし、
母・静江を救ったのであった。

それから数か月後、流禅寺家には
平穏な時間が流れていた。
しかし静江の体にはまだ、
妖魔や裏切り者磯部によって刻まれた
爪痕が癒えず残っていた。

流禅寺家、屋敷…
大掃除の日に晴れて良かった…
サッサッ

ジョンさん
こっちこっち！
ふふっ…
シズルったら
張り切っちゃって
穏やかな休日…
お父様もシズルも
笑顔が絶えない
こんな日がずっと
続けばいいのに…

ハイ、今持っていきマス

ジィ…

……。

フゥ…

ギュウ…

キュンッ♥

キュンッ♥

――サン？

シズエサン？

シズエサン？

え？
あっ…はい？

プク…ッ

…。

カァ～ッ

コノ荷物は
コッチでいいデスか？

ええ、そう――――

クル

…お母様？

……

流禅寺静江…
秀定の娘か
穢れた妖魔ども
一匹残らず滅する！
秋月流妖術の神髄、
見せてやろうぞっ…

鬼神の如き強さを誇った
退魔の巫女も
こうなってはただの女よ
生まれ変わりし
我が信徒達よ……
憎き巫女の肢体
少し味見してみい
おお……幻魯様の
お許しを得たぞ

あっ
男を誘うスケベな体しやがって…散々男を誘惑してきたんだろう？
だ…黙れっ！
たっぷりと可愛がってやるよ…ここじゃあ時間は無限にあるんだからなぁ

最強の巫女様が自分から腰振ってやがるぜ
ふん…娘が見たらどう思うかのぉ
憐れなものだ…あの流禅寺静江も所詮は快楽に勝てぬ牝犬であったか…
あぁ
あぁ
あぁ

なんだもう壊れたのか？イキつぱなしじゃないか…
おっ♡
おっ♡
ビクッ
ビクッ
さぁ次は誰だ？俺はまだまだ抱き足りんぞ
おぉ～っ♡
ふぅっ♡
ふぅっ♡
ビクッ
ビクッ
ブボッ♡
次は俺だ…
犯せ…退魔の巫女を穢せ…

穢せ…
穢せ…――
ハッ…!!
…んっ…
またあの悪夢…

壮一郎さん…
シズルは…
あの子は私達の宝物…
今も立派に
退魔の巫女として
戦っている
あの子は
誰よりも強い
でも…
決して無敵ではない

妖魔側に寝返った
恥知らずの裏切り者…
磯部…
あの時私が味わった
苦い失敗と苦しみ…
あの娘には…シズルには
味わって欲しくない…
シズルは…
私が守らなきゃ…！

数日後……

あ、お母様…
ジョンさんと
連絡が付かないです

昨日も一昨日も
電話繋がらなかったし…
体の具合でも
悪いのかしら…

……

その件は私が…
少し、出掛けてきます

え？えぇ…
お願いします

…ジョンさん？
ジョンさん？入りますよ？
キイイ…ッ
……
ジョンさ――
…シ…シズエサン…
た…助けっ……
……っ！

お…おお…
奥様ぁっっ…

や…はり…気付いてくださいましたか…ふふふっ…

磯部…っ！

奥様、もう僕を磯部『君』とは呼んでくれないのですか？

お前は滅したはず……一体どうやって…？

『愛』ですよ奥様っ！

あなたに対する愛によって僕の魂はここにとどまっている！

何を言って――

ふふふっ僕には視えてますよ…

僕と散々愛し合った…その痕がクッキリとね
…っ！
憑りついている時からずっと…感じていましたよ
この男の体に注がれる奥様の熱い視線を……
ボッ
ファーン
奥様…

欲しいんでしょう？
ドクン
ンッ…♥
『コレ』が…
グリ…ッ
ズイッ

…っ

力づくなら悪霊を引き剥がせるけど…そうするとジョンさんの精神も傷付く…

この男……また誰かを人質にして私を罠に嵌めようと…

ここは調子を合わせて除霊の隙をうかがうしかない…

磯部…あなたの望みはわかってる

いいでしょう……私の体…好きにしなさい

ニイイ…ッ

では…遠慮なく♥

ムニュ♡
グニュ♡
ふふふ…
奥様の体もだいぶ
火照っていますねえ
あれから
ご無沙汰でしたか？
う、うるさい…

ビクッ♡
ビクッ♡
ンッ…♡
奥様はこっちも
だいぶ敏感でしたよねえ？
ゲニィッ♡
クニッ♡
クリッ♡
あれぇ～～～？
なんで声を
我慢してるんです？
スリ
スリ♡
あれだけの男達に
弄ばれた後でも
まだ恥じらうんですねぇ
可愛い人だ…
…っ
もうすっかり
乳首ビンビン
なんじゃないですかぁ？
見せてくださいよ
奥様ぁ～～…

ほらっ！
あっ!!
ギュウッ
ッ…
カァ〜ッ
ほら見てください
奥様の乳首が
ぷっくり勃ってる
〜〜〜っっ
あぁっ♥
ビュッ

ほらほら…
こうやってしつこく
弄りまわされるのが
好きでしたよねえ？

そっ…

あっ♥

そんな事…っ

はぁっ♥

今更何を
ぶってるんです？
奥様は僕に散々
調教された
身じゃないですか？

グニッ♥

グニッ♥

グニッ♥

ナニ!!

こうやって
乱暴にされると
いつも下品に
ヨガってたろうが！

ビクッ♥

ビクッ♥

あっ♥

ふふふっ
それそれ！
その声ですよ

グニッ♥

あぁ…この弾力っ！何度揉んでもたまらない…
あんっ♥
レロッ♥
ギュ〜ッ♥
ギュウッ♥
ギュッ♥
プクッ♥
フーッ♥
フーッ♥
……っ
『あの時』もこうやって一日中、奥様の敏感な乳首をねぶりましたねぇ…
さあ…脱いでください奥様…

……
あぁ…いつ見ても何度見てもお美しい…
…ところで奥様…言い忘れましたがこの体の持ち主はまだ意識があるんです
グッ
ストン…
乗っ取られていても…五感で奥様を感じている…だからでしょうねぇ——

ほら…
っ!!!
ビキッ
ビキッ
奥様の裸体を見てから男根が更に硬く熱くなってるんですよ
きっとこいつも奥様に懸想してたんでしょうねえ～

ふふふふっ この男の精神と 同調していくのが 分かる…
こいつも僕も… 目の前の女を 心の底から 求めているんですよ…
まずは何をするか わかってますよね？
……っ
ペチッ
ふふっ…奥様が いつも眼で追っていた バイトの イチモツですよ？

おっ!!おお〜〜〜ッ…

ビクンッ

ペロ

あっ

ビクンッ

ちゅプ

ギュプ〜〜〜〜ッ

ほぉお…っ！
い、いきなり根本まで…

ギュルルッ♥

ズルゥ←――ッ
ビクンッ
ビクッ
おっっっ!!!
ジュルルルッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ちょっ…
で…出るっっ!
ガシッ!!
ビクンッ
ドピュッ♥
ドクッ♥
ゴクッ♥
ゴキュッ♥
ビュ♥
ビュビュッ♥
ビュビュッ♥

おぉ～～～っ
おっふぅう～～っ…

すいません奥様
ちょっと出ちゃいましたが
うぅっふぅ～～っ！
構わず…うっ！
続けてください…

マヌケなフェラ顔も
美しいですよ奥様ぁ…

…っ

ふふ…
何を今更顔なんて
隠してるんです？

ジュポッ♥
ジュプッ
ジュポッ
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥
ジュポッ♥

あぁ～～っ
吸い付きながら
舌でベロベロっっ
奥様が得意な
フェラテク！

ビクッ
ビクッ
ぬぬゅ♥
ぐりゅっ♥

うぉお…
こんなの
すぐ出るっ

あぁあ！出るっ！
おぉうっ！ふぅう〜っ おふぅ〜〜〜っ
ドビュッ♡ビュクッ♡
ろ!!!
ビュルッ♡ビチチッ♡ドクッ♡
ゲッ
おら吸い付け！喉奥で思いっきり吸え！
キュウッ
ふぅう〜〜〜っ
じゅるっ♡
じゅぷっ
ちゅぱっ♡
ちゅ〜〜〜♡
おぅ！そうですよ尿道に残った分までしっかり吸い出してっ…！うぅ！

ちゅぽんっ♥
ドキュドクッ!!
んあ…っ♥
だいぶ濃い精子が出ましたねえ
ゼリーみたいにプルプルのザーメンが舌の上に乗ってますよ奥様…
ゼロッ…
グイッ

僕達『また』…つながっちゃいますねえ奥様ぁ～～

ま…まだ心の準備が…

ビクッ

えっ…あっ

ビキッ

ビキッ

いっ…いや…っ

借り物の体なのが心苦しいですが…僕達の愛の前では些細な事ですねえ

ほぉらこれを根本までズッポリ入れちゃいますからね

やっ…やめ…

ズリィ…ッ

クチュッ♥

おお〜〜〜…

ゴリュッ

ぶしゅ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ん♥ぉぉぉっ♥

奥様の中っ…
ふぅう〜〜〜〜っ
ねっとりアツアツ
ですねぇ！

うおおっ…
キュウキュウ
締め付けて
きますよ

キュウッ♥

キュッ♥キュッ♥

ミシッ♥

堪えなきゃ…
堪え…っ
堪え――

いんごっっっ♥

こんな太いの…無理っっ♥
ビクッッ
ブルッ♥
あ〜あ…入れただけでイっちゃったよあっけないですねえ
ビクッッ
ギュ〜〜ッ♥
ギュッ♥ギュッ♥
ビクッッ♥
おほっ！膣が痙攣してるっ！
けっ♥
はぁっ♥
はぁっ♥
はぁっ♥
どうせ僕の気が緩んだ瞬間を狙って除霊しようなどと考えていたんでしょうが…
本当は期待していたんでしょ？こうなる事を…

ベロォ…ッ
んあっ♥
じゅぷっ♥
んっ♥
ぬりゅっ♥
ギュッ♥
ギュルッ♥
ギュルルッ♥
ギュルルルッ♥
あぁうまいっ！
チュバッ♥
奥様のツバトロトロで甘露ですよぉっ！
こ…こんな奴のキスだけで…頭が真っ白に…
んっ♥
んっ♥
んっ♥
ううっ！
ギュッ♥
また締まって…っ
ギュッ♥
ギュッ♥
ギュッ♥
ギュッ♥
ふふっ
じゅるるっ♥
またイってるじゃないですか
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥

ゆっくり抜きますよぉ

だめっ♥あぁっ♥

今抜いちゃうっ♥

おっ♥

あぁ♥

ぃっ♥!!

ビクッ♥

ビクッ♥

ズルズル

キュンッ♥

キュンッ♥

ビクッ♥

太いカリで
ゆっくり膣を
擦られると
たまらないでしょう？

あへっ♥

あぁっ♥

ビクッ♥

ズプッ♥

ズルルルッ♥

あぁ♥

イグッ♥

また！イっちゃうっ♥

ちょ、ミラ！
おっ
止めっ
ぎぼっ
イってミラ
ぢちっ
ぢちっ
ぢちっ

あぁ～～～駄目だ！気持ち良すぎるっちょっと一発キメますわ！

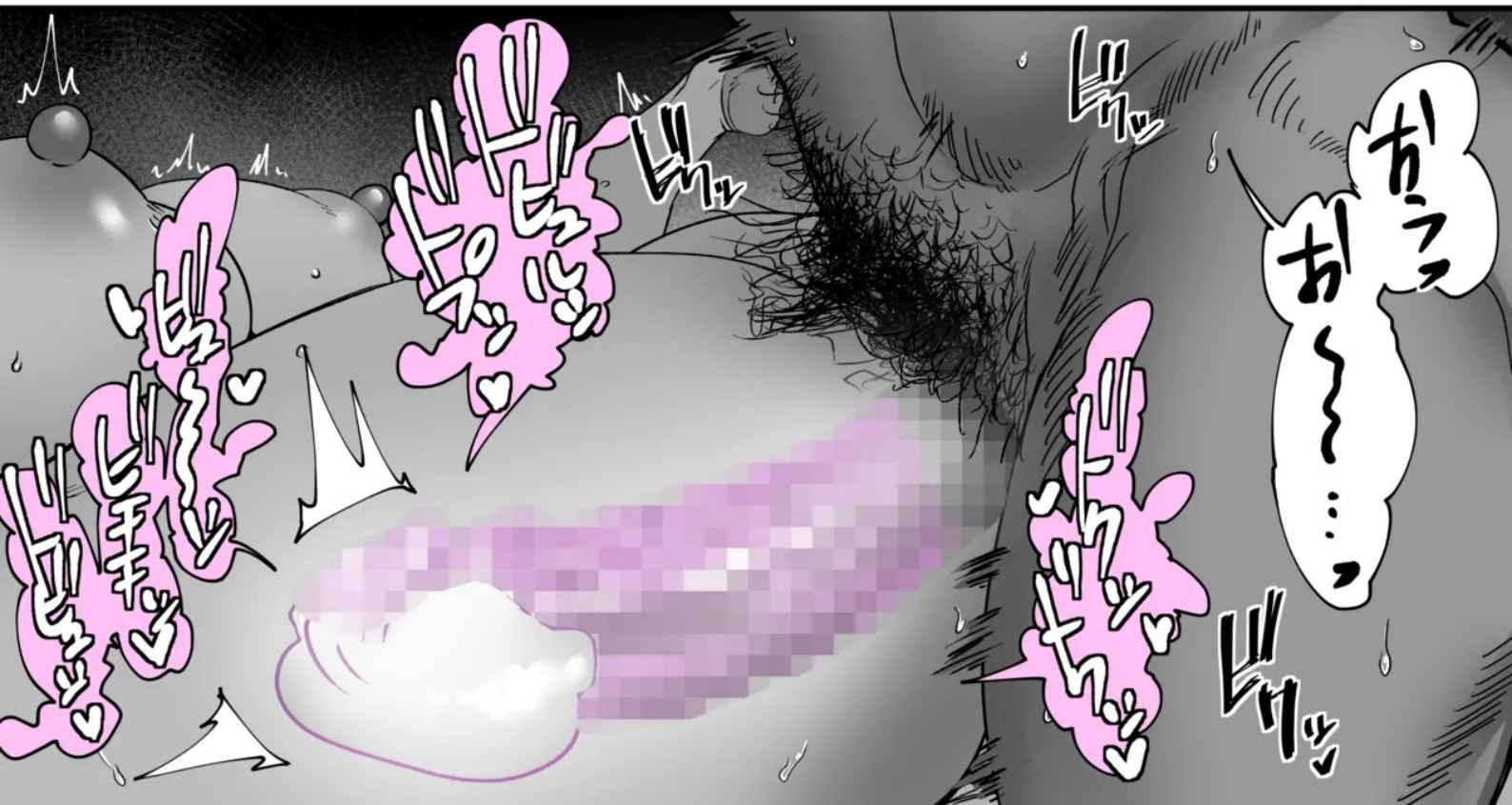
ま…負けないっ！

ほらっ首絞めピストン好きだろうがっ？！イけよほら！

負けないっ！

あぁ出る！一番奥で出すぞぉ！

オライけ！イっちまえ牝豚！

イけッ!!!
負け――――
ドッ
ドピュッ


ビュビュッ
ビュルルルッ
んっ
ビュッ
ビュビュッ
ビュルルッ
ビュッ
ビュルんッ
ビュッ
んっ
ビクッ
ビクッ
チカッ
チカッ
ビクッ
ボッ
ぉ…っ
ぉぉ…
ぃっ
ふふふっ…
僕を除霊するつもりじゃなかったんですか？
ピクッ
ピクッ
ビキッ
ビキッ
ドロ…
こんなんじゃあ先が思いやられますねえ

くくっ…派手にイきましたねえ奥様…
ギッギッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
パンッ
パンッ
…あれ…？
…一瞬気を失って…それから……
あ…頭が…回らない…わ…私…今何を……？
ミミミッ♥
はぁっ♥
はぁっ♥
ぷ～～～
はミッ♥
はへ～♥
さぁ…第二回戦行きますか♥

…静江はどうした？
今日は朝から
見かけんが…

ジョンさんと
連絡がとれない件で
お母様が近くの
お住まいまで
見に行かれましたよ

フム…

そうか…
もしかしたら
慣れぬ海外生活で
少し体調を
崩したかも
しれんな…

ショリショリ

シズルも
何か手伝えることはないか
学校の帰りにでも
見に行ってきなさい

ん～？

ええ、そうします

ぬるっ
ぬちゃっ
ちゅるっ
にちゃっ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
あぁ奥様っ！
また出しますよぉ！
あっ
あぁっ
はっ
はっ
あっ
あっ
またイグッ
イグッ
キュッ
キュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ

うおおっ
イクッ!!!
ビクッ
ん♡おっ!!
ビュッビュッ
ビュッビュッ
ビュッビュッ
ビュッビュッ
ゴチュッ♡
ゴチュッ♡
ぬちゃ…っ♡
おっ♡

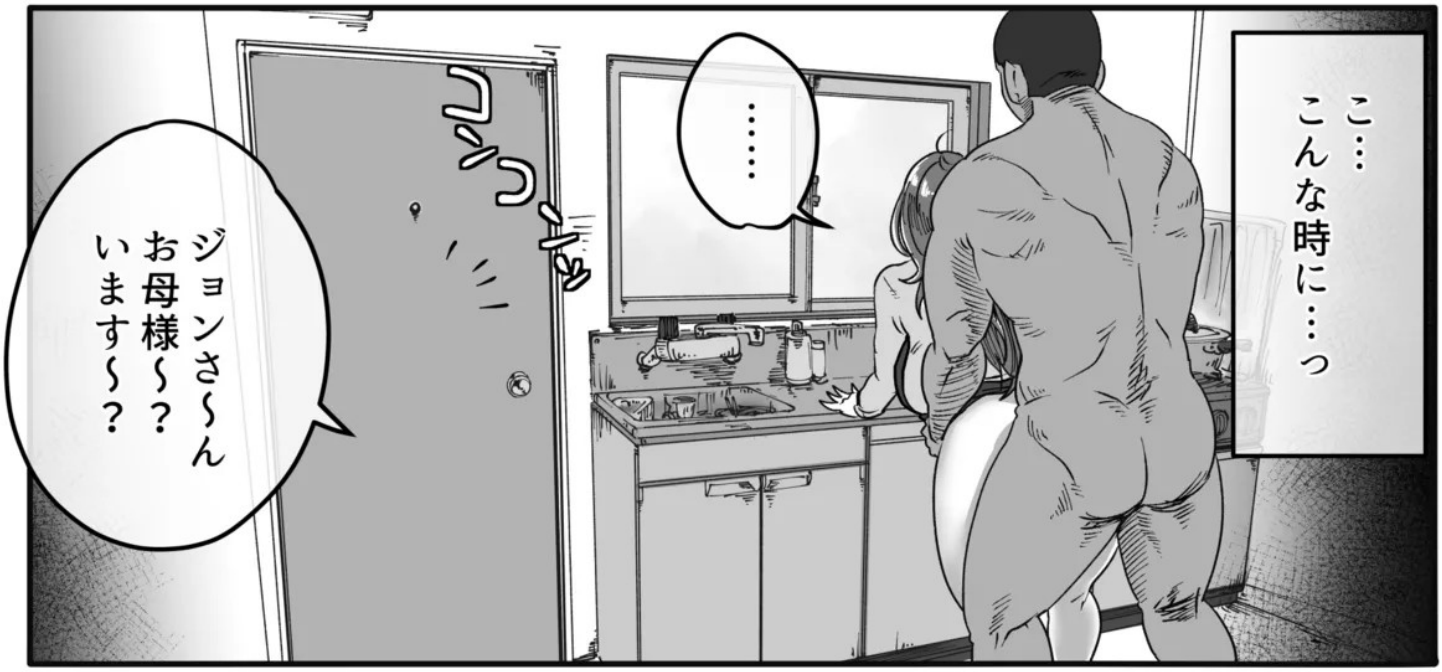
ふぅ～～～～っ
朝からぶっ通しで
腹減っちゃいましたわ
…お…終わった？
これ以上はもう…
絶対無理っ…
奥様ぁ～
冷蔵庫に
あるもので
なんか
お願いしますわ
あ～～出した出したぁ
…ゴム無くなっちゃ
いましたねぇ
は…はい…
フゥ～～っ

いっ……！
今作ってるっ
からっ……！
いやぁすいません
また勃って
きちゃったもんで
ばちゅっ♡
ばちゅっ♡
ばちゅっ♡

パコッ
パコッ
パコッ
パコッ
ぐんッ
ぐぐッ
ぐぐッ
ぐぐッ
エプロン姿のっ！ふぅっ！奥様もたまらないっ…ですねえ
ピンポーン♪
!!
ピンポーン♪
カチッ

コンコンッ

…シズル…？！



ボッ
おやおや？
シズルさんが
様子を見に
来ちゃいましたねえ
ボッ
…っ
ふふふっ
何を黙ってるんです？
居留守は
良くないですからねえ
ほら
ちゃんと
返事してください
…この下衆っ…！
また私を辱めようと…
なんとか
やり過ごさないと…
…シズル？
あ、お母様
ジョンさん
大丈夫だった？
ええ大丈夫…
それよりちょっと
ごめんなさい
今ちょっと
手が離せないから
待っ――
ズッ

おぶっ
ビクッ
ビクッ
え？
お母様？
ミシッ
ミシッ
ミシッ
ミシッ
くく…
すいません奥様
我慢出来なくて
ほらほら
会話を続けないと
娘にセックス中だって
バレちゃいますよ？
ゴリュッ
ゴリュッ
ゴリュッ

…？お母様？
あ…その…ジョンさんっ…ちょっと風邪――
はぁっ♡はぁっ♡
はぁっ♡はぁっ♡
はぁっ♡はぁっ♡

こ…こんな下衆に
これ以上イかされたら…
心が屈服するっ！
またあの時みたいに
磯部の奴隷に堕ちるっ！

負けないっ！
絶対負けないっ！

もうっうぅ…
イきますよぉ
ゴム無しですがっ
構いませんよねっ？

…え？
きょ…今日は駄目っ
外に出してっ…
赤ちゃんできちゃ――――

ごちゃごちゃ
うるさいんだよ牝豚っ
だから生でヤって
るんだろうがっ！

ぶりっ♥

ぶりっ♥
ぶっ♥
ぶりっ♥
ぶりっ♥
ぶりっ♥
ぶりっ♥

ぶりっ♥

ぶりっ♥

あぁ駄目ぇっ♥
奥にガンガン
当たってるっ…！

ぶちゅっ♥
ぶちゅっ♥
ぶちゅっ♥
ぶちゅっ♥
ぶちゅっ♥
ぶちゅっ♥

ゴチュッ♥
ゴリュッ♥

イくぞ～
奥でこってり
出してやるからなぁ～

孕め雌豚！
あぁ♥あぁっ♥
ビクンッ
生中出しキメられながらイけっ！
ギュッ♥
ギュウッ
キュッ♥キュッ
キュッ♥キュッ

おっ…
おおっ♥
おぉ～～～～っ…
すっげえ出る…
おっ…
ううっ！
ふぅ～～～っっ
他人の体使って
無責任中出し
たまんねえ…
ビュ～～～
ビュッビュッ
ビュッビュッ
ビチッ
ビチッ
ビチッ
ビクッ
ビクッ
ビク

おぉぅ!!
あぁ～～～～
出た出たっ♥
壁一枚へだてて
娘がいるって時に
その母親に
生中出しキメるのは
格別ですねえ～♥
ズチュ…
ブルン…
ドロ…

シズルさん…
奥様は今ちょっと
手が離せないみたいで…

こんな喋り方
だったっけ？

え？あっ
ジョンさん？

私はもう大丈夫なので
ご足労かけて
申し訳ないのですが…

あっいえいえ！
ジョンさんが
大丈夫なら
それでいいので

それじゃっ
お母様に
よろしく

……全く…
相変わらず
鈍感な馬鹿女だな
シズル…

ふふふっ
なんとかバレずに
済みましたねえ
奥様…

…奥様？もしも～し？
…ふふっ除霊の事なんてすっかり頭から抜けて――――
快楽に負けた奥様の姿はいつ見ても美しい…またあの頃に戻れそうで僕は嬉しいですよ…
シズル…壮一郎さん…ごめん…なさい…私……わた…し…もう……
…そうだせっかくですから――――

後であの馬鹿娘に送って見せてやりますか

奥様と僕の『愛』の記念写真♡

！

ピロリン♪

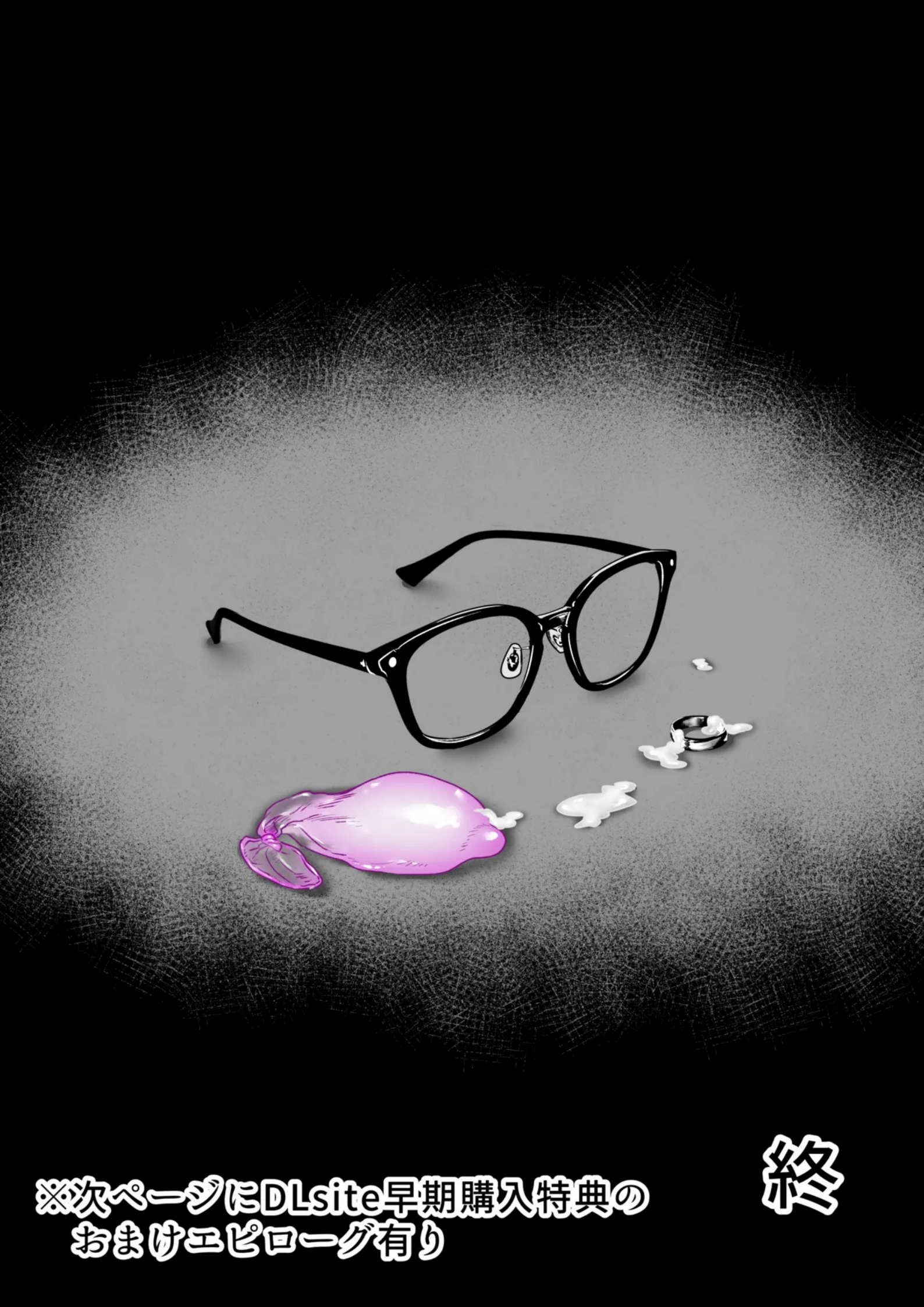
……

……お母様？

っ!!!

カタン

お母様…
そんな…
嘘……



※次ページにDLsite早期購入特典の
おまけエピローグ有り

終

あれ以来…
磯部様は再び
私のご主人様と
なりました…
体にもっと肉を付けろと
言われましたので
二日五食の生活を
続けていると
すっかり贅肉がついて
少し体が重いです
ムチィ…
磯部様は私の体を
毎日求めます
避妊具など
一切致しません
ぢゅるるっ
チュッ チュッ
どんなプレイでも
必ず最後は
私の膣内に
射精なされます
執拗に…
何度も…
何度も…

何度も…
何度も…
ぅ…ふぅ!!
んくッ♥
ゾクッ♥
ブーッ♥
ブーッ♥
ブゥ〜♥
ボコッ
ボコッ
ボコッ
妊娠9カ月目…
ある日突然姿を消した
磯部様の意図が
私にもやっと
わかりました…
私を太らせ贅肉を
付けさせた事…
私を孕ませることに
拘った事…
磯部様が『ここ』に
いるのを感じる…
私のお腹の中で育つ
赤子に憑りついている…
健康な母体で受肉し…
他でもない私の
胎内から産まれる事…
それがご主人様の
『望み』だったのです…
エピローグおまけ漫画…完。